

	深川中学校だより 音 信 ～ お と ず れ ～	学校 HP 二次元コード  令和7年度 10月号 長門市立深川中学校 校 訓 勸学 教職員スローガン 「生徒の姿で教育の成果をみせる。」
学園目標	未来を切り拓く人間性豊かな俵山・深川っ子の育成	
地域でめざす子ども像	★ふるさと長門を愛し、あいさつでつながる元気な子★自分の思いや考えを伝えられる素直な子	

9・10月 行事・キャリア教育・CS

初の引き渡し訓練(9/12)振り返り

- ・時期(年度当初通知 1学期 深川中校区4校合同 タ方)
- ・本人確認(マイナンバーカードや免許証、アプリ等を検討)
- ・スムーズな受付(掲示板の設置、兄弟関係把握名簿の準備)
- ・記載用語や確認方法など小中統一(グラウンド→運動場)
- ・動線経路の徹底・運動場内の誘導(表示版を設置・誘導員増)
- ・保護者でない人や未成年に引き渡してよいのか?(検討課題)



第79回体育祭を終えて(9/12) 実行委員長 上手幸永愛

準備の段階からたくさんの方の力で作り上げられていることを実感しました。練習を見ていると、どの分団も本気で取り組んでいて、回を重ねるごとに団結力が強くなっていくのを感じました。みんなが同じ目標に向かって努力している姿に何度も勇気をもらいました。今年は、新しく団旗のイメージ図をもらい生徒会メンバーと一緒に団旗を描き上げました。完成した団旗を掲げた瞬間、団の一体感が一気に高まったのを感じました。それぞれの団の個性があふれている団旗が並ぶ会場は、体育祭の始まりを鮮やかに告げる舞台のようで、見る人の気持ちも自然と高まったと思います。当日は、競技でも応援でも、どの団も全力で取り組み、笑顔と歓声が絶えない一日になりました。一人ひとりの頑張りが重なって、最高の体育祭を作り上げたと思います。体育祭は一日で終わってしましますが、その裏には数えきれないほどの練習や準備がありました。その積み重ねがあったからこそ、あの日の達成感や充実感が生まれたのだと思います。支えてくださった先生方や協力してくれた仲間たちに心から感謝しています。これからも団旗のようにそれぞれの色を胸に、学校全体をもっと明るく元気にしていきたいです。そして、全員が作り上げたこの体育祭を胸に、次の行事でもまた最高の思い出を作っていけたらと思います。



●ミシン9/30 地域協育ネット

家庭科の授業で「ちくちくクラブ」のメンバーの方にご協力いただきました。全員がきちんと習得できました。



●薬物乱用ダメ。ゼッタイ。教室 10/7

長門ライオンズクラブさんの後援により、1年生を対象に学習しました。依存性が強いので1回でもダメ絶対！



●租税教室 10/7

税務局の方から、計3回の授業を行っていただきました。「救急車の有料化」というテーマについてディベートを行いました。



●1年ふるさと学習 10/8

市内6区分(三隅・仙崎・深川湯本・俵山・日置・油谷)し、それぞれの事業所などでお話を聞きました。ふるさとを思う情熱にふれることができました。



●山口芸術文化ふれあい事業・パントマイム10/9

はせがわ天晴さんによるパントマイム。人間の感情や物語を身体で表現されていました。心が晴れやかになりました。



●芋掘りボランティア10/18

5月に植えた芋を収穫しました。小学生に大きな芋を取らせるなど、お姉さんお兄さんぶりを発揮しました。



10・11月 行事・キャリア教育・CS

第79回文化祭実行委員長 堀田 菜衣

私たち3年生にとって文化祭は、クラスや学年、全校生徒が一体となってできる最後の行事です。その一大イベントの実行委員長を任せていただき、とてもうれしかったです。

人をまとめる立場になり、大きな責任を感じていましたが、執行部や専門委員長、文化祭実行委員の協力のおかげで、楽しみながら良い雰囲気での準備をすすめることができました。文化祭は、合唱コンクールや学年ごとの発表、会場や学校内での展示など、各学年の個性と底力が現れるものとなっています。

今年度のスローガンの「突破～自分の一番を超えてゆけ～」にもあるように、各々が自分の最大限、それ以上の力を発揮できるような文化祭を目指したいです。

10/25

キャリア教育講演会

講師 大相撲鍛山部屋

親方 鍛山矩幸(元小結 豊真将関)様

講演「わたしのふるさと山口県と相撲人生」場所 深川中体育館 時間 13:40～15:30 保護者可

10/31

吹奏楽部ラスト講演

会場 俵山小体育館 時間 13:00～13:30

部長 増野 里奈

私たち吹奏楽部は、11月2日の俵山地区文化産業祭をもって地域移行します。

最後の1年間は大変なことばかりでした。まず2年生がいないことによる様々な課題。それから三隅中と合同で出場した「山口県吹奏楽コンクール」。これらを乗り越えてきたからこそ、寂しい気持ちは残りますが深川中の名を背負って最後まで活動できることを誇りに感じています。深川中吹奏楽部として最後の公演、多くの人の心に残る演奏を届けていきます。

11/2